

卒業研究概要書の題目

Title of the thesis

AF16009 池辺 颯一
Soichi Ikebe

指導教員 神澤 雄智
Yuchi Kanzawa

1 はじめに

近年、情報通信社会の発展に伴いデータ量が増大し、日々多様なデータがコンピュータに蓄積されている。この大量のデータから有益な情報を抽出する手法として、データを類似度に基づきグループ化するクラスタリングに注目が集まっている。しかし、既存の手法でクラスタリングを行う際に、各クラスタのサイズに差がある場合は有意な結果が得られないという欠点がある。そういった中で、各クラスタのサイズを考慮してクラスタリングを行う手法が複数提案されており、本研究はそれらの手法について、各手法の特性を把握するとともに、最も有用な手法を発見することを目的とする。

本稿を作成するにあたり、注意点を以下に記すので、よく読んで間違いのないよう確認すること。

1. 複数人の共同研究であっても1人ずつ(1枚ずつ)提出すること。また、自分が中心に行ったことをまとめるので、全く同じ原稿は認めない。
2. 研究題目は抽象的な表現を用いず、実際の研究内容を具体的に表したものにすること。英文併記。
3. 指導教員名は「姓名」のみを記入すること。著者名(学生名と指導教員名)は英文併記。
4. 形式は「はじめに」「研究内容」「研究成果」「まとめと今後の課題」「参考文献」などの順で書く。謝辞はまとめの中で書くこと。ただし、各節のタイトルは研究内容に応じて適切に変更してよい。
5. 図の番号およびキャプションは図の下に書き、表の番号およびキャプションは表の上に書くこと。
6. 図表内文言は可能な限り英語表記とすること。また、図表のタイトルは日本語表記の下に英文表記を併記すること。
7. 文中で図表を説明する際には「図1に を示す」のように日本語の図表番号を用いること。
8. 仕上がりは、グレースケールではなく白黒であることに注意して図を作成すること。
9. 使用フォントを全て埋め込んだPDFファイルとして提出すること。
10. ファイルサイズは5Mバイト以下とすること。
11. 共同研究者がいる場合は、自分の名前の後ろに学籍番号とともに記述すること。
12. 不明な点は指導教員に確認すること。

2 提案内容

提案技術の具体的な内容に関して、図表などを用いて分かりやすく述べる。また、図を挿入する場合は、カラー

は用いず白黒で描くこと。カラーやグレースケールを用いた図や写真は、印刷時に諧調がつぶれて真っ黒になってしまう可能性があるので特に注意すること。

3 研究成果

問題点の解決に関して、提案技術が既存技術と比較してどの程度有効であるか定量的に述べる。

4 まとめと今後の課題

本研究の成果を簡潔にまとめるとともに、どのような課題が今後検討されなければならないかについて述べる。

参考文献

- [1] 河崎めぐみ, 千葉翔太: “加速度センサーを用いたユーザの行動状態推定方式,” 信学論 B, Vol. J85-B, No. 5, pp. 755–767, (2011).
- [2] 山田一郎, 中村仁: “モバイル環境におけるマルチメディア通信品質の研究,” 信学技報, Vol. 109, No. 204, pp. 27–32, (2010).
- [3] Seki, Y. and Kirii, Y.: “Fast Handover Scheme using User’s preference,” Wireless Communications and Mobile Computing, Vol. 7, Issue 5, pp. 553–568, (2009).